

脳神経外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査

[研究機関名・長の氏名] 北海道医療センター 菊地 誠志

[研究責任者名・所属] 下田 祐介 ・ 脳神経外科 副医長

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

九州大学大学院医学研究院脳神経外科 教授 飯原 弘二

[共同研究機関名・研究責任者名]

国立病院機構北海道医療センター 脳神経外科副医長 下田 祐介 ほか

J-ASPECT study 参加施設（J-ASPECT study ホームページ <https://j-aspect.jp/>）

[研究の目的]

超高齢社会の本邦において、後遺障害による寝たきりの原因となる脳卒中の救急治療は大きな課題となっています。高齢者医療費の最大の原因である脳卒中の患者数は今後も更に増加し、2020年には300万人に達すると予想されています。緊急性の高い脳卒中治療については、医療機関の集約化、広域化と連携強化が重要となりますが、地域特性に応じた整備の為には、全国的な規模での地域毎の実態を調査することが必要です。

本研究では本邦の脳卒中、脳神経外科医療施設の施設情報と、診療の質的評価・治療成績・予後との関連を調査し、その適正な配置について提言を行うことが目的です。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

脳卒中と脳神経外科疾患で治療し、平成27年4月1日から令和2年3月31日の間に退院された患者さん

○利用するデータ

DPCデータ、レセプトデータを提供していただきます。DPCやレセプトとは、日本における医療費の支払いに使用される評価方法であり、本研究はカルテに記載された個人情報や画像データを利用するものではありません。

<取得する情報>

①DPC ファイル上、主傷病名、入院の契機となった傷病名、もしくはレセプト電算フ

ファイル上の傷病名に脳卒中と脳神経外科の診療に関連する病名の少なくとも一つを含みます。以下に例として脳卒中分野の傷病名を示します。

1. 脳梗塞

- (ア) I63.0 脳実質外動脈の血栓症による脳梗塞
- (イ) I63.1 脳実質外動脈の塞栓症による脳梗塞
- (ウ) I63.2 脳実質外動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞
- (エ) I63.3 脳動脈の血栓症による脳梗塞
- (オ) I63.4 脳動脈の塞栓症による脳梗塞
- (カ) I63.5 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞
- (キ) I63.6 脳静脈血栓症による脳梗塞, 非化膿性
- (ク) I63.8 その他の脳梗塞
- (ケ) I63.9 脳梗塞, 詳細不明

2. 非外傷性脳内血腫

- (ア) I62.0 硬膜下出血(急性)(非外傷性)
- (イ) I62.1 非外傷性硬膜外出血
- (ウ) I62.9 頭蓋内出血(非外傷性), 詳細不明
- (エ) I61.0-61.9 (脳内出血)

3. クモ膜下出血

- (ア) I60.0 頸動脈サイフォン及び頸動脈分岐部からのくも膜下出血
- (イ) I60.1 中大脳動脈からのくも膜下出血
- (ウ) I60.2 前交通動脈からのくも膜下出血
- (エ) I60.3 後交通動脈からのくも膜下出血
- (オ) I60.4 脳底動脈からのくも膜下出血
- (カ) I60.5 椎骨動脈からのくも膜下出血
- (キ) I60.6 その他の頭蓋内動脈からのくも膜下出血
- (ク) I60.7 頭蓋内動脈からのくも膜下出血, 詳細不明
- (ケ) I60.8 その他のくも膜下出血
- (コ) I60.9 くも膜下出血, 詳細不明

4. 一過性脳虚血発作 G45

- (ア) G45.0 椎骨脳底動脈症候群
- (イ) G45.1 頸動脈症候群(半球性)
- (ウ) G45.2 多発性及び両側性脳(実質)外動脈症候群
- (エ) G45.3 一過性黒内障
- (オ) G45.4 一過性全健忘
- (カ) G45.8 その他の一過性脳虚血発作及び関連症候群
- (キ) G45.9 一過性脳虚血発作, 詳細不明

5. もやもや病 I675

6. 未破裂脳動脈瘤

- (ア) I671 脳動脈瘤、非(未)破裂性
- (イ) Q282 脳血管の動静脈奇形

(ウ) Q283 脳血管のその他の奇形

② 脳卒中に関連した診療行為を例として示します。

t-PA 静注療法

減圧開頭術

経皮的脳血管形成術

経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術

動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）

経皮的頸動脈ステント留置術

頭蓋内動脈吻合術

脳新生血管造成術

頭蓋内血腫摘出術（脳内、硬膜内）

定位的脳内血腫除去術

脳動脈瘤流入血管クリッピング

脳動脈瘤頸部クリッピング

脳血管内手術

穿頭脳室ドレナージ

穿頭術（トレパナチオン）

脳血管塞栓摘出術

脳血管血栓摘出術

脳動静脈奇形摘出術

脳動脈瘤被包術

頭蓋内血腫除去術（開頭）

四肢の血管拡張術・血栓除去術

[研究実施期間]

実施許可日～2021年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター 脳神経外科 担当医師 下田 祐介

電話 011-611-8111（代表） FAX 011-611-5820